

# 平成26年度(第11期)事業計画



平成26年3月  
東京地下鉄株式会社

# 目 次

## 2020年東京 オリンピック・ パラリンピック に向けて

◆東京メトログループの役割を再認識し、3つの視点から各種施策を実施してまいります

P.3

## 平成26年度の主な取り組み

### 自然災害対策

◆お客様の安全を第一に考え、首都東京の機能を保持していきます。

P.10

### ホームドア

◆相互直通運転先の各社と協議の上、全ての路線へのホームドア設置を目指します。

P.11

### 東西線

◆東西線の遅延解消及び混雑緩和に向け、抜本的な対策を実行します。

P.12

### バリアフリー

◆できる限り速やかにエレベーター1ルート整備率100%を達成するとともに、2ルート目も整備推進します。

P.13

### 銀座線 リニューアル

◆伝統×先端の融合を路線コンセプトとし、銀座線全線のリニューアルを実施します。

P.14

さらなる安心を提供する

### 駅サービス

◆駅空間の快適性・利便性向上のために、サービスの充実を図ります。

P.15

### 都営地下鉄との サービスの一体化

◆お客様の利便性の向上を図るため、東京都交通局と連携し、サービスの一体化を積極的に推進します。

P.16

### 沿線活性化

◆地域活性化に貢献できるような施策の展開に向け、沿線地域との連携を密に行っていきます。

P.18

### 関連事業

◆鉄道事業とのシナジー効果の発揮を基本とした積極的な事業展開を行います。

P.19

### 海外への展開

◆海外都市鉄道整備事業に参画することで、グループとして新たな可能性に挑戦します。

P.22

### 研究・開発

◆「さらなる安全性の向上」、「さらに質の高いサービスの提供」を可能にすべく、研究・開発の分野において挑戦をしていきます。

P.23

東京とともに成長する

新たな可能性に挑戦する

さらなる安心を提供する

2013年12月

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組みの基本方針

東京メトログループの役割を再認識し、3つの視点から各種施策を実施してまいります

【東京メトログループの役割】

「東京の案内役」

「鉄道ネットワークのつなぎ役」

【3つの視点】

視点 1

[世界トップレベルの地下鉄の安全を]

視点 2

[地下鉄をわかりやすく快適に]

視点 3

[地下鉄を使って東京を楽しく]

総点検を実施

2014年夏頃

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた計画

必要に応じて  
反映

平成26年度事業計画

反映

各年度の事業計画

2020年

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催

国や東京都、組織委員会等  
と協調し推進

## 総点検

- ・2020年の姿もイメージしながら、現状の安全・サービス等のレベルについて、あらためて確認していきます。
- ・点検のポイントを定め、下記の点検手法を用い、既存の調査結果も有効に活用しながら総点検を実施します。

### 視点 1

[世界トップレベルの地下鉄の安全を]

#### 【点検のポイント(例)】

- ・震災時の帰宅困難者をスムーズに受け入れられる体制か？
- ・駅出入口からの浸水は、すべて防ぐことができるか？

### 視点 2

[地下鉄をわかりやすく快適に]

#### 【点検のポイント(例)】

- ・駅全体が利便性の高い心地よい空間となっているか？
- ・開催期間中のダイヤは観戦や観光に便利なものか？

### 視点 3

[地下鉄を使って東京を楽しく]

#### 【点検のポイント(例)】

- ・車内ディスプレイでは、お客様が興味を持てる内容を流せているか？
- ・インターネット等の通信利用環境は、十分整っているか？

## 点検手法 (例)

### お客様による評価

(例) 障がい者団体や外国人のお客様へのインタビュー



### 有識者へのヒアリング

(例) 大学教授やサービスの専門家へのヒアリング



### 他国・他社事例との比較

(例) 過去の開催国の鉄道や航空会社との比較



### 社内外からの実地調査

(例) 社員による疑似体験  
社外の方による視察



※掲載写真はイメージ

## 視点1 【世界トップレベルの地下鉄の安全を】

全てのお客様が安心してご利用いただける、世界トップレベルの安全性と安定輸送を誇る地下鉄を目指します。

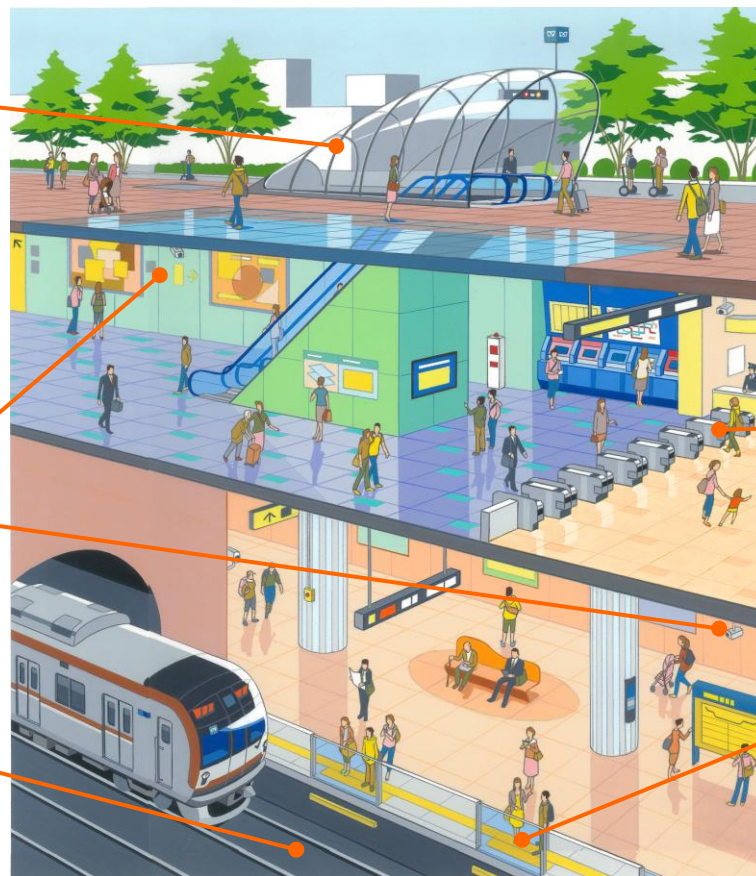
### ●どんな状況にも

これまでも安全の確保・安全性の向上のために自然災害対策やセキュリティ強化等に取り組んでまいりました。今後もすべてのお客様に安心してご利用いただけるよう、様々な取り組みを推進していきます。

【駅構内への浸水防止対策】  
出入口の改良等を推進



【警備体制の強化】  
開催期間中、主要駅では警備を強化



【転落検知マット】  
ホームドアの設置が困難な駅については、  
軌道内へのお客様の転落を検知する装置を導入

【避難誘導訓練】  
外国のお客様等を想定した訓練の実施



【帰宅困難者対策】  
飲料水等の備蓄の追加配備や英語表記を検討

【爆発物検知装置の運用に向けた協力】

【ホームドアの設置】  
競技場や観光地等の主要駅への  
先行設置を検討



## 視点 2

## [地下鉄をわかりやすく快適に]

ユニバーサルデザインの観点から、  
全てのお客様にとって、**便利で快適な地下鉄**を提供します。

### ●全てのお客様に

東京の案内役として、全てのお客様にとって便利でわかりやすいご案内の提供に向けて積極的に取り組んでまいります。

【ナンバリング、ピクトグラムの活用】



銀座線 上野駅



商店

【IC乗車券の活用】  
観戦チケットとの統合や  
海外での販売などを検討

【エレベーターの整備】  
競技会場や観光地等の  
最寄駅に積極的に整備

【ウェルカムボードの設置】  
外国人旅行者向けに便利な情報を提供



【外国語案内の強化】  
・社員の語学能力向上  
・翻訳サービスの充実



【障がい者向け音声案内ナビの制作協力】

【列車ダイヤ】  
競技の開催時間等に合わせた  
列車ダイヤの設定

【トンネル内ワンセグ放送の検討】

【位置情報の活用】  
地上地下に関係なく位置情報が取得可能な  
インフラ整備に向けた検討、ナビゲーションの検討



視点 3

## [地下鉄を使って東京を楽しく]

移動時間を楽しく過ごしていただくとともに  
沿線エリアの活性化にも貢献します。

### ●東京を楽しく

お客様を確実に目的地へお運びするというにとどまらず、東京の活性化を意識し、東京の魅力を一層引き出せるよう取り組んでまいります。

#### 地域連携

地域活性化に貢献すべく  
地域との連携を密に  
行っていきます



地域と連携イベントを実施



コミュニティサイクルサービスに  
ついての勉強会に参加



#### 情報発信

駅周辺に無線LAN等を  
活用した情報  
インフラを整備



#### 空間提供

駅構内や車内を  
エンターテイメント空間  
にします



## 平成26年度の主な取り組み

ご案内の強化に向けて駅におけるサインシステム等の見直しを進めるとともに、バリアフリー設備の整備や混雑緩和に向けて駅の改良工事を実施します。また、さらなる安全性の向上のため、ホームドアの実証実験など研究開発を行います。



---

## さらなる安心を提供する

---

「安心＝安全＋サービス」の考えのもと、全てのお客様に地下鉄を安心してご利用いただけるよう、より一層努力していきます。

● 大規模浸水対策・耐震補強工事・駅間停止列車対策に取り組みます

換気口、出入口、坑口(トンネル入口)等において、浸水防止機、止水板、防水ゲート等の設置を推進します。また、引き続き耐震補強工事に取り組むとともに、災害等により列車が駅間や長大橋梁区間で長時間停止してしまう場合に、お客様に安全かつ迅速に避難いただくための設備の配備を推進します。

大規模浸水対策

【換気口に新型浸水防止機を設置】

- ・平成27年度完了予定

〈平成25年度末設置数(実績)〉  
313/511機  
〈平成26年度末設置数(予定)〉  
431/511機



【出入口の完全防水化】

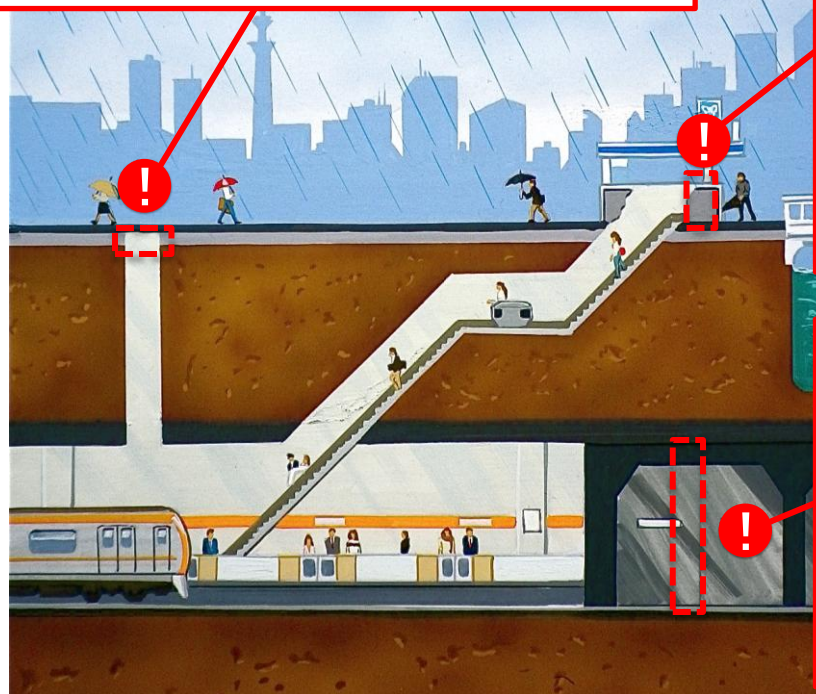
- ・平成34年度完了予定

〈平成25年度末設置数(実績)〉  
25/412箇所  
〈平成26年度末設置数(予定)〉  
67/412箇所



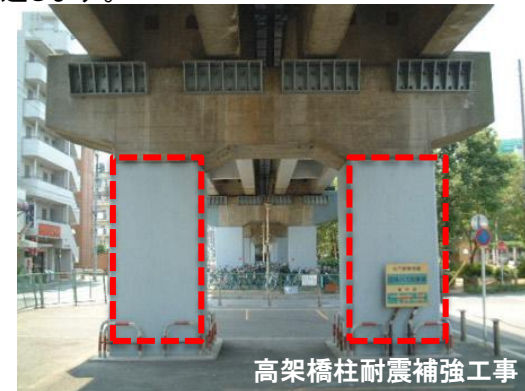
【坑口などに防水ゲートを設置】

- ・平成34年度完成予定



耐震補強工事

従来補強不要と判定されていた高架橋柱の全数を対象に、引き続き耐震補強工事を推進します。



高架橋柱耐震補強工事

駅間停止列車対策

避難誘導設備として、非常用梯子、搬送トコ、拡声器などを配備していきます。



非常用梯子

## ● 銀座線等において整備を進めるとともに、東西線において新型ホームドアの実証実験を行います

ホームドア未設置路線への展開について検討を進めます。また、オリンピック・パラリンピックに向けて競技場や観光地等の主要駅への先行設置を検討していきます。



### 【ホームドア整備状況】

- ・丸ノ内線、有楽町線、南北線、副都心線全駅
- ・千代田線一部区間

〈平成25年度末整備数(実績)〉  
84/179駅(47%)



平成26年度の  
取組み

#### 【銀座線】

ホーム補強工事等を実施します。  
(平成30年度完了予定)※大規模改良工事予定の駅を除く

#### 【日比谷線、千代田線】

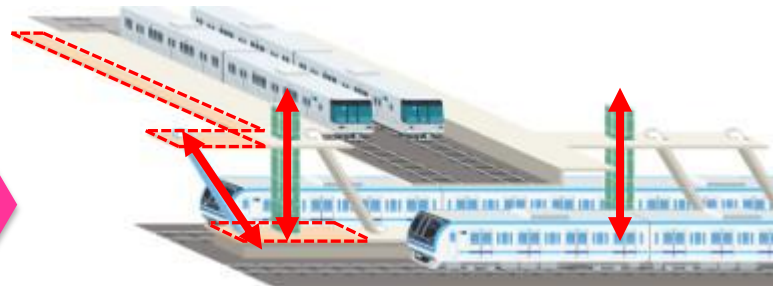
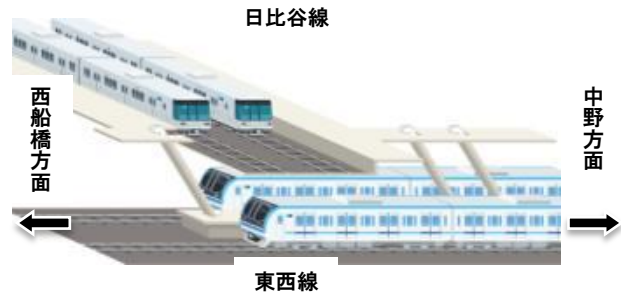
設計を実施します。

#### 【東西線】

新規技術の実証実験を行います。

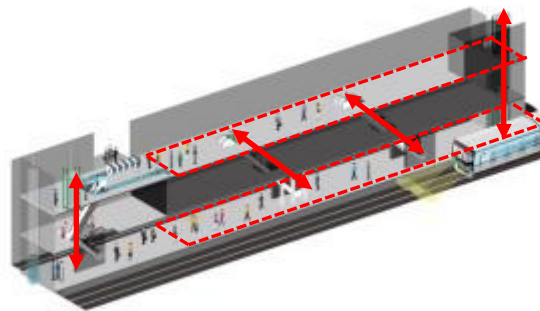
● 茅場町駅、木場駅、南砂町駅等の改良工事を進めます

茅場町駅：平成30年度完成予定



(日)階段・ESC増設／コンコース・ホーム拡幅  
(東)ホーム40m延伸／停車位置変更

木場駅：平成32年度完成予定



コンコース・ホーム拡幅／EV・ESC増設

南砂町駅：平成32年度完成予定



ホーム・線路の2面3線化



平成26年度の  
取組み

【茅場町駅】  
関係機関との調整を進め、構造物の築造など土木工事を行います。

【木場駅】  
埋設物支障移設など土木工事を行います。

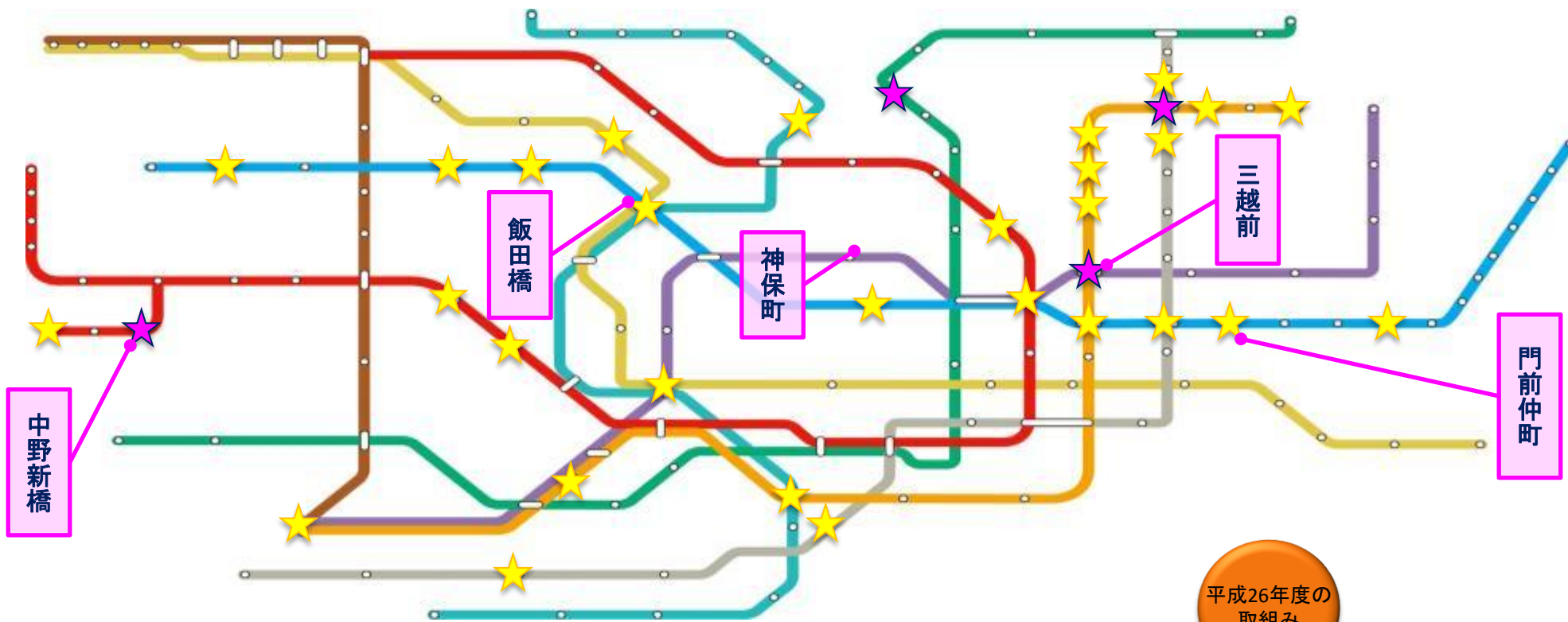
【南砂町駅】  
支障物の撤去や土留の地下連続壁築造など土木工事を行います。

【その他】  
東陽町駅は掘削や構造物の築造など土木工事を引き続き行うほか、都心部折返し線整備についても引き続き検討していきます。

ダイヤ改正、オフピークキャンペーンも実施予定です。

## ● 平成26年度に1ルート整備率100%を達成します

平成26年度に1ルート(段差解消)整備率100%を達成します。  
さらに積極的な用地取得も行いながら、エレベーターの増設を進め、2ルート目や乗換ルート等についても整備を加速させます。



平成26年度の  
取組み

- :平成26年度に1ルートが整備される駅
- :平成26年度にエレベーターが完成する駅(4駅)
- :エレベーター施工中及び平成26年度に施工を予定している駅(29駅)

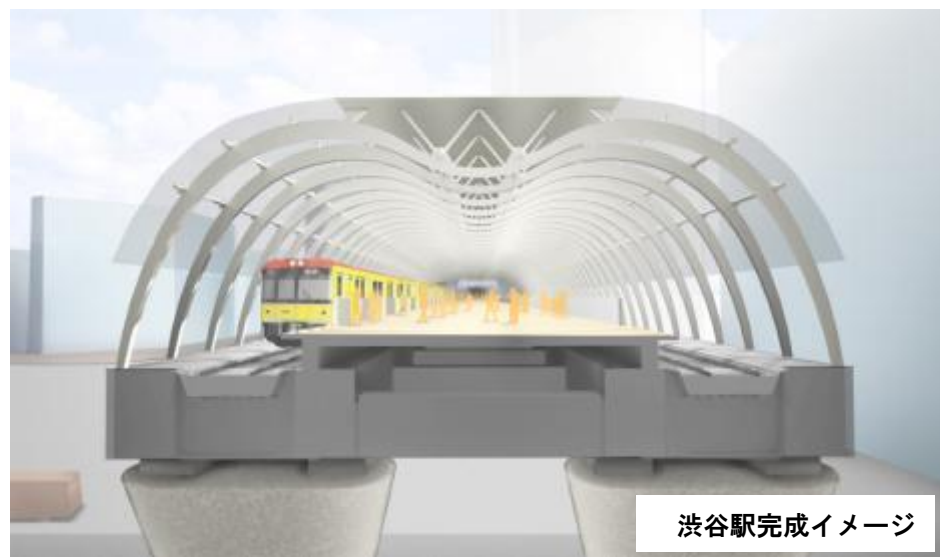
【1ルート整備率】平成26年度完了予定  
 <平成25年度末整備数(実績)> 133/138駅(96%)  
 <平成26年度末整備数(予定)> 138/138駅(100%)

※複数の路線が乗り入れる駅は1つの駅として計上

● **引き続き新型車両の導入や渋谷駅の改良工事を進めるとともに、駅デザインコンペを実施します**



プラットフォームイメージ（下町エリアのデザインコンペ最優秀案）



渋谷駅完成イメージ

平成26年度の  
取組み

【車両更新】  
平成26年度に9編成導入します。（累計21編成／38編成）

【駅改装】  
銀座線の新たな魅力の向上に寄与する多様なアイデアを募るためデザインコンペを開催します。平成26年度には商業エリア（三越前、日本橋、京橋）を対象に開催します。

※平成24年度には下町エリアを対象に開催しました。

【駅改良】  
新橋駅の改良工事や虎ノ門駅の出入口新設等工事を推進します。

【ホームドア】  
ホーム補強工事等を実施します。  
（平成30年度完了予定）※大規模改良工事予定の駅を除く

【渋谷駅の改良工事】  
関係者との協議・調整を密に行い、工事を着実に進捗させていきます。



ホームベンチの増設・更新

誰もが理解しやすいサインシステムの見直しに向けて検討

外国人旅行者向けに便利な情報を記載したウェルカムボードを増設  
タッチパネル式デジタルサイネージの試験設置



ICTを活用した新たなサービスを検討  
(例: タブレット端末によるお客さま対応の充実)



訪日外国人旅行者用乗換探索アプリの配信



東京での毎日をアクティブに生きる大人、特にシニアを意識したメロウーカーの刊行【H25.12月から季刊発行】



床面サインの充実に向けた試験を実施

## ● 旅行者向け共通乗車券の発売

国内外の旅行者向けに、従来より割安な東京メトロ・都営地下鉄共通  
一日乗車券を発売するとともに、新たに二日券・三日券も発売します。



共通乗車券イメージ

(赤：一日券、青：二日券、黄：三日券)

## ● 共通特典ガイドブック「ちかとく」の発行

一日乗車券等購入者向けの特典ガイドブックについて、従来個別  
に発行していた「ちか旅。」と「いっとく」を統合し、新たに「ちかとく」  
として共同発行します。



「ちかとく」イメージ

平成26年度の  
取組み

● 平成26年4月22日から、都営地下鉄との共通乗車券  
(一日券～三日券)を発売する予定です。

● 都営地下鉄との乗換駅における乗継ルートへのエレベーター整備を  
引き続き推進していきます。

● 平成26年4月1日から、都営地下鉄と共通の特典ガイドブック  
を発行する予定です。

● より分かりやすいご案内やさらなる乗継改善等についても引き  
続き検討します。



---

## 東京とともに成長する

---

これまで以上に沿線エリアの魅力や価値を高める施策を、地域や相互直通運転先の各社等と連携して実施し、  
人の動きの創出にも取り組んでいきます。

●東京まちさんぽや次世代育成のためのイベント等を実施していきます

需要創出・地域貢献

沿線地域の活動への参加や協賛を行うとともに、事業を通じ、地域社会とのコミュニケーションを深化させていきます。



小学校での特別教室に協賛



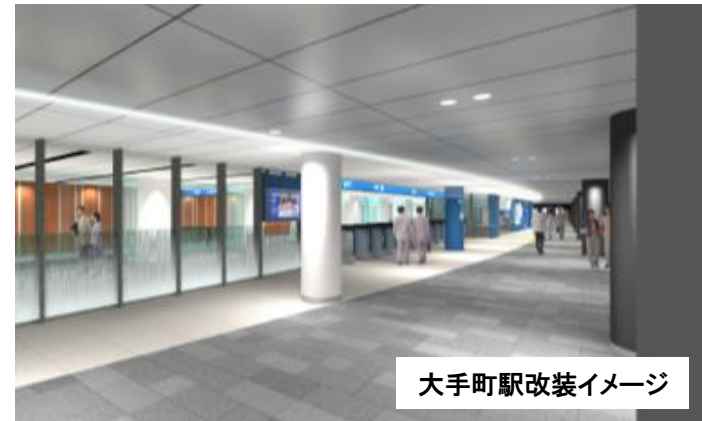
車両基地見学の受け入れ



東京まちさんぽポスターイメージ

再開発等との連携(駅設備整備)

より良いまちづくりに寄与するため、駅周辺の再開発に際しては、積極的に連携していきます。



大手町駅改装イメージ



東池袋出入口イメージ

流通事業

- お客様のニーズに合った魅力ある駅構内店舗「Echika fit」、「Metro pia」を新たに開発します
- 駅構内店舗のリニューアル等を積極的に実施し、駅の利便性のさらなる向上を目指します
- サービスの向上やキャンペーンなどの各種施策を通じて「Tokyo Metro To Me CARD」の魅力を向上させます

平成26年度の  
取組み

- 新富町駅等で駅構内店舗を開業します。

店舗面積: 新富町駅 約150㎡

- 「Echika 池袋」、「Echika fit 銀座」をリニューアルオープンします。

新富町メトロピアイメージ



不動産事業



- 鉄道事業とのシナジー効果を期待できる不動産を取得し、開発を行います

平成26年度の  
取組み

新宿御苑前駅、半蔵門駅のバリアフリー設備の整備に合わせて、用地開発を進めます。

広告・IT事業

- 駅構内、車両内へのデジタルサイネージの設置を拡大し、媒体の魅力を高め、様々なクライアントのニーズに対応します

平成26年度の  
取組み

- ・Tokyo Metro Visionのさらなる導入を銀座線などで進めます。
- ・Metro Concourse Visionの設置を拡大します。



コンコースデジタルサイネージ  
「Metro Concourse Vision」イメージ

---

# 新たな可能性に挑戦する

---

社員一人ひとりが新たな施策や困難な課題にさらに積極的に取り組んでいきます。

● これまで培った地下鉄建設・運営ノウハウを活かし、海外都市鉄道整備事業に対して支援を行います



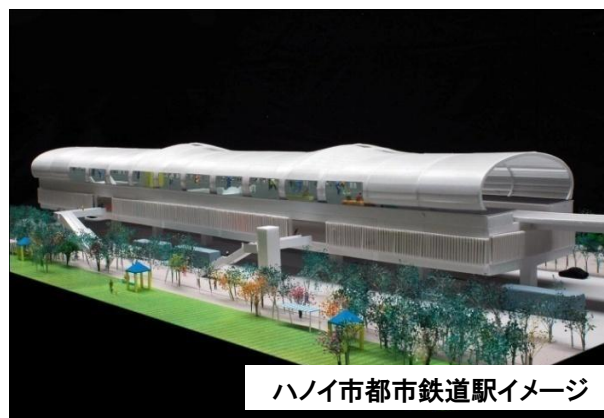
ハノイ市交通状況



ハノイ市都市鉄道計画路線概要



署名式(覚書を締結)



ハノイ市都市鉄道駅イメージ

平成26年度の  
取組み

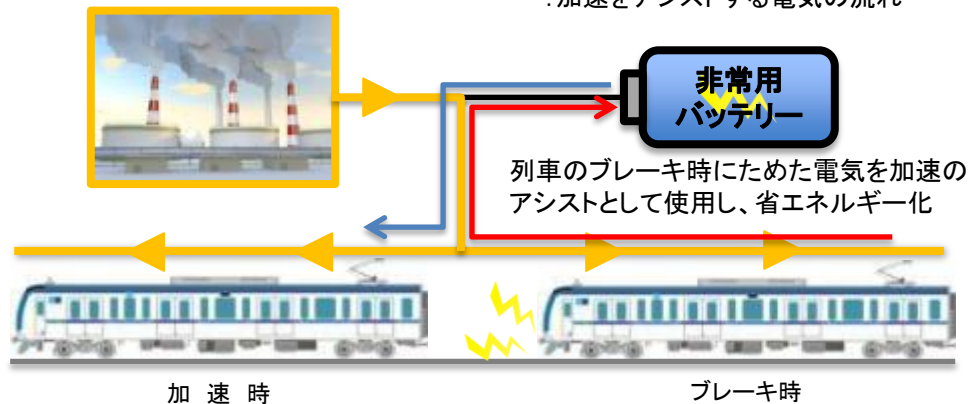
- 引き続きハノイ市都市鉄道の運営・維持管理会社の設立等の支援を行います。
- ハノイ市都市鉄道管理委員会と締結した相互の友好・協力に関する覚書に基づく人的交流等により、ハノイ市に対し継続的に協力を行います。

● 大規模停電時に駅間で長時間にわたり列車が停止することを防止するため、非常用バッテリーの研究を進めます

非常用バッテリーのイメージ

通常時

- : 発電所からの電気の流れ
- : ブレーキ時に発生した電気の流れ
- : 加速をアシストする電気の流れ

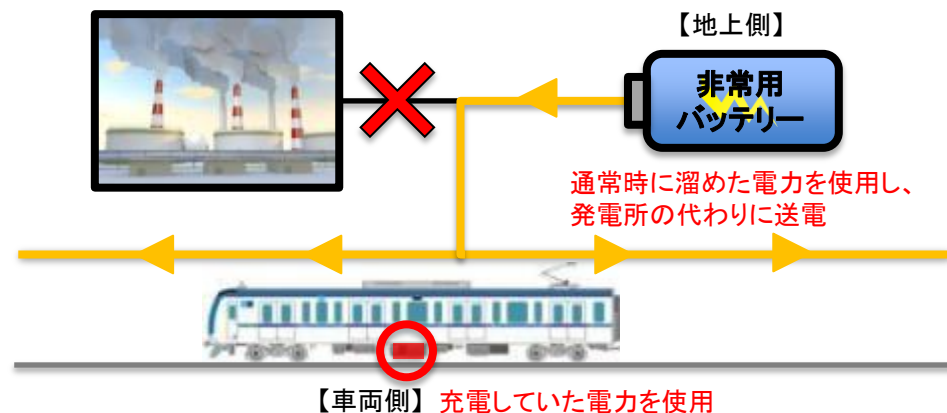


トンネルの長寿命化に向けた調査及び対策のイメージ



停電時

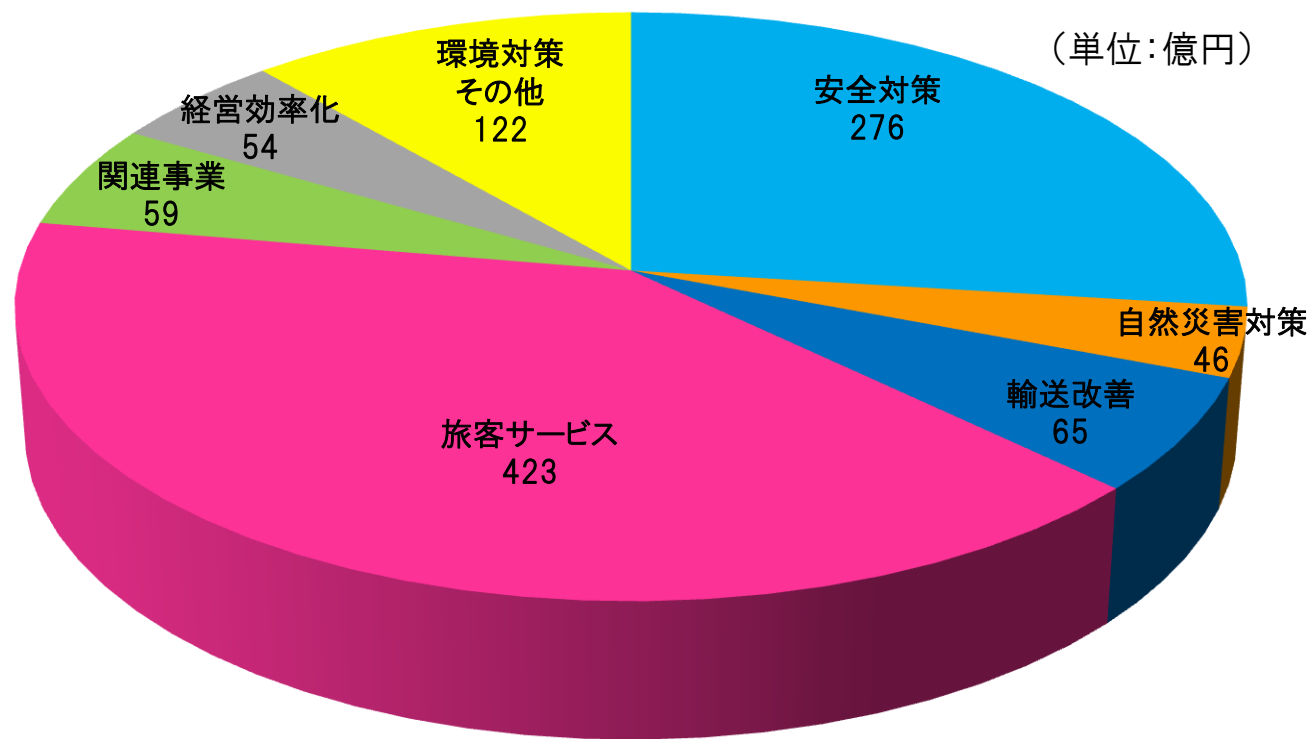
地上側及び車両側の2パターンのバッテリーについて研究を進めています。



平成26年度の取組み

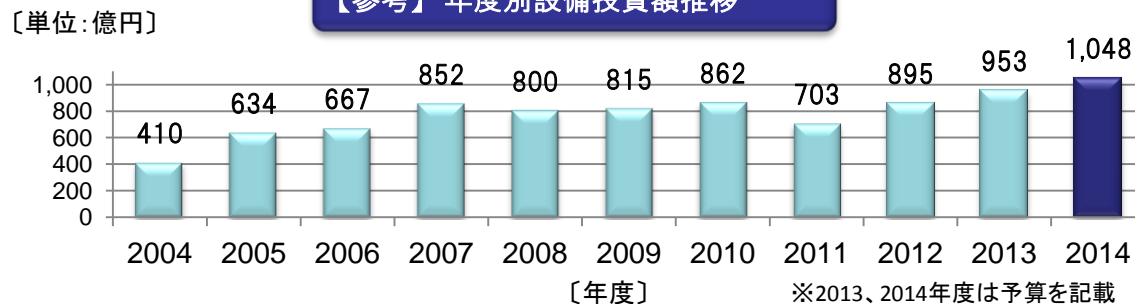
- ・ 大規模停電時における駅間での長時間にわたる列車停止を防止するために最寄り駅まで走行可能な非常用バッテリーの研究を実施します。
- ・ 省エネルギー化を図るため、駅補助電源装置の展開に向けた検討を進めます。
- ・ トンネルの長寿命化に向け、トンネル等の詳細な健全度評価を実施し、対策の検討を行います。
- ・ 次世代列車運行システムの研究を進めるにあたり、地下鉄環境での電波の特性試験を行います。
- ・ 東西線木場駅において、地下で列車を運行しながら、駅構築シールドの上部から掘削を進め、改札階等の新たな空間を生み出す世界初の工事を進めます。

## 平成26年度予算 1,048億円



項目	26年度予算
安全対策	276
保安度向上	110
車両更新	89
ホームドア整備	31
その他	46
自然災害対策	46
震災対策	25
大規模浸水対策	16
避難誘導設備	4
輸送改善	65
旅客サービス	423
バリアフリー整備	231
駅空間整備	92
改札周辺利便向上	13
その他	85
関連事業	59
不動産事業	48
流通事業	10
経営効率化	54
環境対策その他	122
<b>合計</b>	<b>1,048</b>

【参考】年度別設備投資額推移





注:本資料に記載の投資予定額・完成年度等については、今後の関係各所との協議等により変更となる可能性があります。



東京地下鉄株式会社